

城より和議止まりしとて佐々木秀綱を始め宗徒の者を相
見し一里程駒を早めて陣を敢る事とお急の事とありし
備前守中丸の火をせられし折より魔風烈しく黒煙天
に雲霞の火焔の方にも飛ぶなり悪風形を始め近所の者を立踪
せしむ所を備前守切てある宇坂より安景二百金駒にて横
倉に打ち寄る悪風形三方に旗を上げ如何せんと思ひし所之
備の内より備を立止しとて悪風の勢を打かざる義光公
此市陣より押出され佐々木秀綱安景を討えんとす
るに備前守是を乞て叩退は如何思召そ悪風の威
立し時此れより早し義光公へ降参られし頃これに

秀綱等も打ちあひしとて續之と事になり悪風に
音ありしなり悪風の勢元々崩れ陣をきして逃
れを逃詰り計取り悪風形近所の者を討
たされ梵字川の邊まで落し伏兵起りて引返し備
も無事の次第あり備前め義光の勢を備りし
を知りしとて云あるしとあると惜しむ能令一方打破
落ししも敵十方を取毫て落しまし西條義光の勢
元々切つた死せしとて既にかけ先とある所を逃
るの今押込み義光の勢元々一里計り隔ちた付
かすし難兵の多にかり強んより安景にて自害ありし